



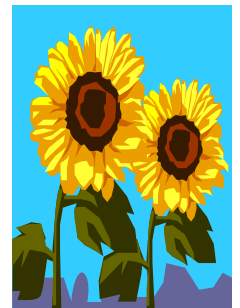
平成22年7月1日（木）発行 【隔月（年6回）発行】

発行部署 : ソリューション営業本部 ソリューション部
住所 : 東京都港区芝大門一丁目1番30号
電話番号 : 03-5408-4620
発行責任者 : 中島 英男
お問合せ窓口 : 古田 泰幸

第88号

【目次】

1. 小集団活動全社発表会開催される
2. RFIDの動向 ～実証実験見学会参加レポート～
3. 主要国際港コンテナゲートへの出入管理「PSカード」化
4. LIFE現場活動レポート
5. 衛星場所自慢 Part2 ～第20回 寧波菱信物流有限公司～
6. 富士通フォーラム2010参加レポート
7. ビジネス・キャリア検定試験 「ロジスティクス管理2級」受験



1. 小集団活動全社発表会開催される

去る6月18日に、当社の中部支社に於いて、小集団活動全社大会が開催されました。昭和57年度よりスタートした本活動も今回で26回目を迎えました。全社95グループの中から選ばれた7グループによって行われた発表は、どれも興味深いテーマでありました。

簡単に内容をご紹介します。

- ①中部支社 : KBIC充填包装設備の不具合改善活動
- ②尼崎油槽所: 私達の改善(取組1:事務所の改善、取組2:事務用品のコスト削減)
- ③四国支社 : UC主・補トロー給脂方法改善
- ④九州支社 : フォークリフト労働災害「ゼロ化」達成
- ⑤中部支社 : 「サービス向上計画」Part1～船舶代理店業務の効率化
- ⑥中国支社 : 特殊ポリ重袋包装荷姿改善
- ⑦鹿島支社 : PC荷役新規作業の垂直立上げと安全、安定荷役の継続



活動内容は、設備の改善や業務の改善、RCに関するものと多岐にわたるテーマがありました。そして今回も質疑応答を交えながら活発な議論が行われました。尚、最優秀グループは、10月に予定されている「三菱化学グループ小集団活動発表会」に当社代表として出場します。

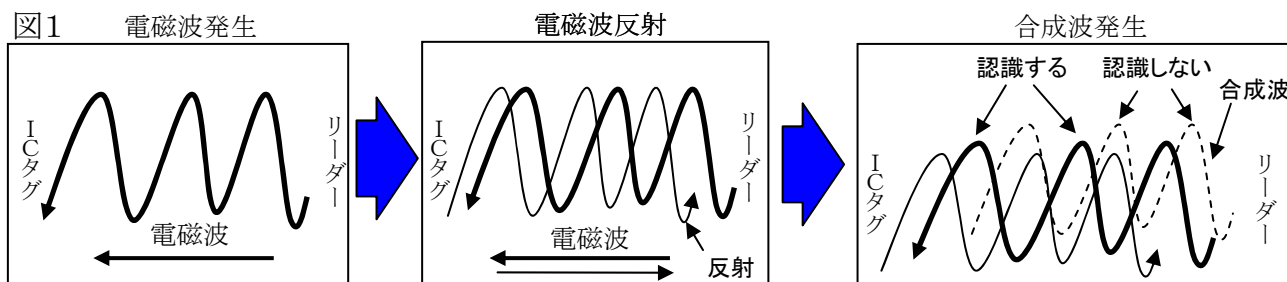
2. RFIDの動向 ～実証実験見学会参加レポート～

最新のRFIDの動向について、情報を得る目的で、4月23日に千葉県木更津市にあるトーヨーカネツソリューションズ(株)様のRFID実証実験現場(RFID Noisyラボ)を見学に行っていました。

RFIDの活用は、「業務の効率化」「見える化」にあると言われています。日本は既に業務の効率化でのRFID活用は実施されていますが、見える化については現在、研究開発されている段階とのことです。「見える化」は荷物のリードタイム、在庫偏在、トレーサビリティなどRFIDのデータをグラフ化や数値化して表示することです。

実際、実証実験現場でペットボトルの入ったダンボールにICタグをいろんな位置に取り付けて読み取りテストが行われました。ダンボールの下側に取り付けたICタグよりも上側に取り付けたICタグのほうが読み取り距離が伸びました。これは、ダンボール内のペットボトルの首の部分は水が少ないため、電磁波の吸収力が弱いことに起因するとのことでした。また、アンテナからの電磁波と反射した電磁波により合成波が発生し、認識不可能となるポイント(これをヌルポイントと呼ぶ)が発生するとのことでした。それを視覚的に分かりやすく説明戴き大変勉強になりました。(図1参照)

実験終了後に、気になるRFIDの価格について質問したところ、インレット(裸のICタグの状態)で10円を切る金額になっているが、用途によって樹脂等でコーティングすることで数百円になってしまうのが現状とのことです。大量生産等で更に低価格なICタグが出てくることを期待したいと思います。

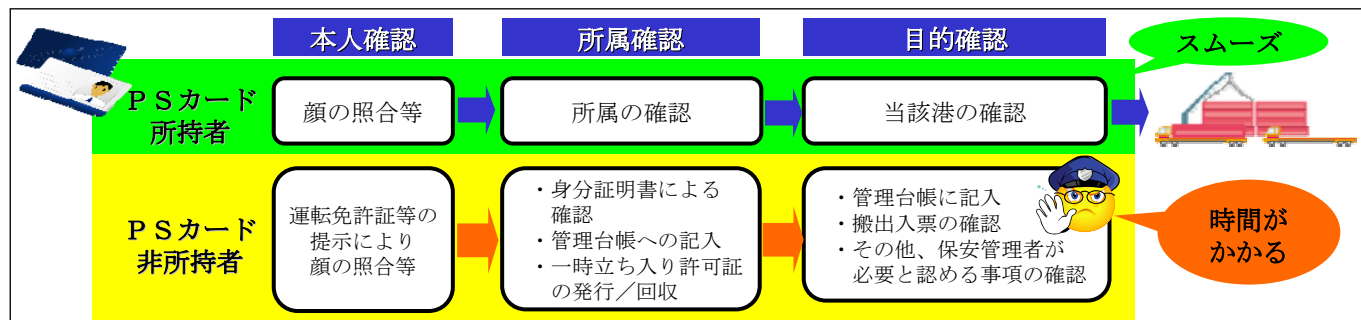


3. 主要国際港コンテナゲートへの出入管理「PSカード」化

国土交通省は、2001年発生の米国同時多発テロ「9・11」を契機に主要港の出入管理を高度化し、セキュリティ強化と物流効率化の両立に向けた取り組みを行ってきました。その中心的なシステムとなる「出入管理情報システム」導入の一環として「PS(Port Security)カード」の申請書配布を5月6日から開始し、今年の冬から横浜港、神戸港、来年の春から名古屋港、神戸港、北九州港及び博多港の5港湾でシステム導入の試行運転開始が予定されています。(神戸港は2回に分けて実施)

PSカードは高度に偽造防止が施された写真付きのIDカードで、当面はシステム導入予定の5港湾を利用するトラックドライバーや港運事業者を発行対象としています。これにより、港湾ゲートでの「3点確認」(本人/所属/目的確認)をスムーズに実施することが可能となります。

PSカードにより、セキュリティ強化及び物流効率化になることから、関係者は申請されることをお勧めします。



PSカードに関する国土交通省のHP : http://www.mlit.go.jp/kowan/ps_card.html

4. LIFE現場活動レポート

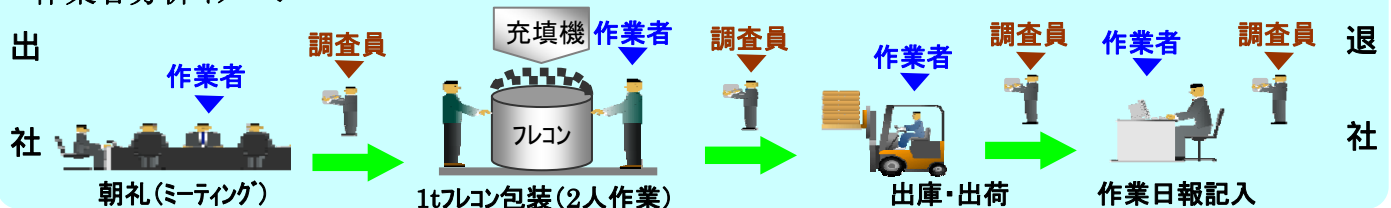
今回は、当社の構内物流の調査・解析方法の一つである「作業員分析」について、実際の活動をご紹介します。

「作業員分析」とは下図のように、作業員が出社してから退社するまで調査員が張り付き、一日の中でどのような作業(行動)を行っているかを把握し、作業におけるムダ・ロスを解析する手法です。

解析のためにイレギュラーなデータは避けたいので、作業員には「普段通り作業して下さい。」とお願いするのですが、どうしても普段とは違う段取りや必要のない作業を行いがちになります。作業員にしてみれば、いきなり見ず知らずの人間が付きまとうのですから、どうしても意識してしまうのは無理もありません。我々としてもなるべく作業員が意識せずに作業出来るような位置で調査したり、作業について質問する事でコミュニケーションを図りながら作業員の緊張を和らげるよう心掛けています。

調査員を受け入れて下さる現地の方々のご苦勞は大変ですが、この調査は現状解析のためには大変重要ですので、ご理解頂きたいと考えております。

作業員分析イメージ



5. 衛星場所自慢 Part2 ~第20回 寧波菱信物流有限公司~

寧波菱信物流社は当社の中国展開の第一歩として、2007年4月浙江省寧波市大榭開發区に中国の中信物流社との合弁企業として設立されました。今年で設立四年目を迎え、テレフタル酸の構内作業、輸送に加え、PTMGの輸送、三菱化学グループ以外の輸送も加わり、益々発展する中国において業務を拡大しているところです。

拠点としている寧波市は上海市から南約200kmに位置し、海に面した人口約600万人の大都市です。昨年の皆既日食の際は見事に観測できました。近くには曹洞宗の開祖である道元が修行をした天童寺があり、古くから日本と繋がりの深い都市でもあります。唐代より中国の三大貿易都市として栄え、現在のコンテナ貨物取扱量は中国国内2位、世界第4位(2008年)となっています。また、当地は、中国内でも有数の「お金持ち」の多い都市でもあり、街はBMW、アウディなどの高級車で溢れています。市内中心部では外資の5つ星ホテルをはじめとした高層ビルの建設ラッシュで、最近では海外の高級ブランドショップも進出し、日本の大都市よりも都会的です。数年後には中心部に地下鉄も開通する予定で、日々発展し大きな変化を続けています。

中国は各地に伝統料理がありますが、寧波料理は豊富な海鮮を生かした海鮮料理が中心です。街の寧波料理店では必ず店頭で生きた魚貝類が並び、調理方法を自分で選択し調理してもらいます。味付けはやや塩辛いのが特徴ですが比較的日本人に違和感のない味付けと言えます。胡麻団子は寧波の名物の一つで「寧波湯園」と呼ばれ、寧波人は春節の年越しの際は、此れを食べて次の一年の健康と発展を祝います。

寧波は、治安も良く住みやすい町ですので、上海へお越しの時など、一度足を伸ばしてください。



寧波市の中心にある月湖



天童寺



古い町並みの残る石浦漁村

6. 富士通フォーラム2010参加レポート

去る5月13日に東京国際フォーラムにて開催されました富士通フォーラム2010に参加してまいりました。毎年多くのセミナーや展示デモの紹介が行われている富士通(株)様最大のイベントです。

今回はその中から、物流専門誌「ロジスティクス・ビジネス (LOGI-BIZ)」創刊者である大矢昌浩氏が講演されました「物流業の最新動向」の内容について一部ご紹介いたします。

講演内容は、民主党の物流政策や、その問題点、規制緩和の影響等々、物流分野の多岐にわたっておりましたが、特に印象に残ったのは、「どうやって生き残るのか」という点で以下の4点を挙げられたことです。

- ・3PLは提案力より現場力が重要(受託後のコスト削減継続が大事)
- ・共同物流は積載率より回転率を重視せよ(積載率は持続できない)
- ・特積はコスト削減より構造改革(再編も視野に入れて集配の共配化を)
- ・一般運送では運賃交渉より管理会計の充実を(中小事業者では実態が把握できていない)

読者の皆様はどう思われますか？

そのほかにもたくさんのセミナーが開催されておりましたが、紙面の都合上割愛させていただきます。

7. ビジネス・キャリア検定試験 「ロジスティクス管理2級」受験

スキルアップを目指して、表題の試験(平成22年3月7日実施)に挑戦しました。

「ビジネス・キャリア検定試験」は、平成6年から実施されてきました「ビジネスキャリア試験」をリニューアルして、平成19年より公的資格試験として実施されています。その中で物流に関する試験として「ロジスティクス管理」と「ロジスティクス・オペレーション」が有り、各々2級と3級があります。

今回受験した「ロジスティクス管理2級」は、①ロジスティクス管理の体系、②在庫・システム・コスト管理、③物流情報システム、について課長・マネージャー等を目指す人を対象とした試験内容となっています。ロジスティクス分野の受験者数は回を重ねる毎に大きく増加しており、今回はロジスティクス試験全体で約2600名、ロジスティクス管理2級では572名でした。合格点は60点以上で、合格率は3級が約60%、2級が約25%で2級はかなり難関です。

さて私事ですが、テキストと前回試験問題をしっかりと頭に刻み込んで(刻み込んだつもり?)臨みましたが、テキストの知識だけでは答えを導く事のできない問題も多く、悪戦苦闘の連続でした。何とか時間ギリギリに解答を書き終えて試験会場を後にしましたが、当日の天気同様、心の中は雨模様です。しかしなんと、4月2日の発表では晴天に・・・。(高木)

芝のそよ風

ソリューション部 立野 仁徳

先般行われた、公益法人の“事業仕分け”では「全日本トラック協会」も対象となり物流業界は注目しておりましたが、廃止・予算縮減の事業も多い中、結果として「見直し」に留まったとのことでした。内容としては、特に「天下り問題」や「交付金の流れ、透明性」に関する議論が行われたようですが、一方で「国交省は物流の現実と法令の乖離を知るべき」との世論も多く挙げられており、課題はまだ山積みようです。

一方、我が家も今年度予算の検討において“事業仕分け”が行われ、独身時代から大切に乗っていた愛車は、財務大臣兼仕分け人の妻より「廃止」が言い渡されました。引き渡しの前日、お世話になった愛車を磨きながら涙がはらり・・・家計支出の一要因が断たれたとはいえ、人生の一期一会、切ない思い出となりました。